

令和 6 年度 東大阪市 LINE アンケート

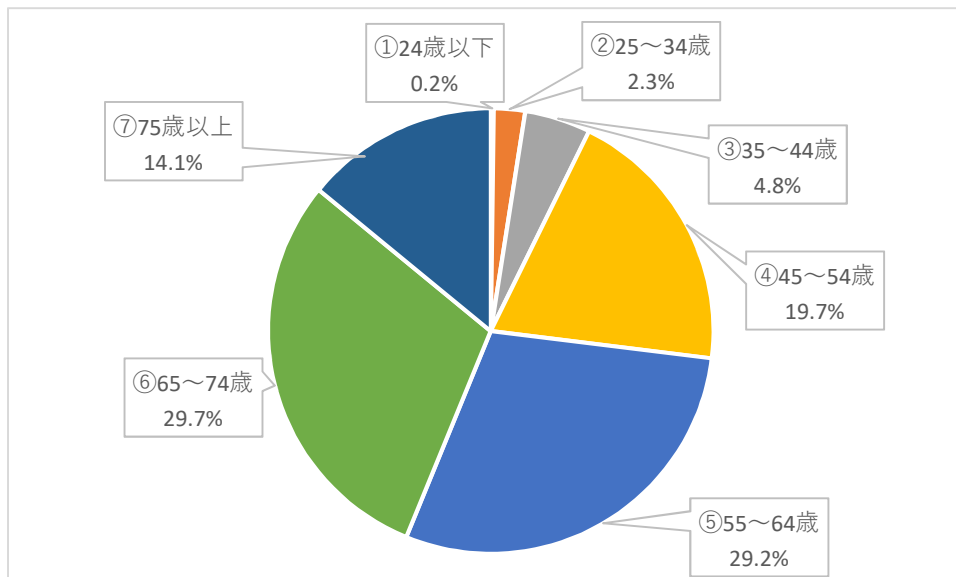
令和 6 年 7 月 29 日～8 月 5 日に東大阪市 LINE 公式アカウントを活用して「認知症に関するアンケート」を実施しました。

目的

認知症に対する意識や認知症施策に求めるものなど、市民の皆さんのニーズを把握するためのアンケート。

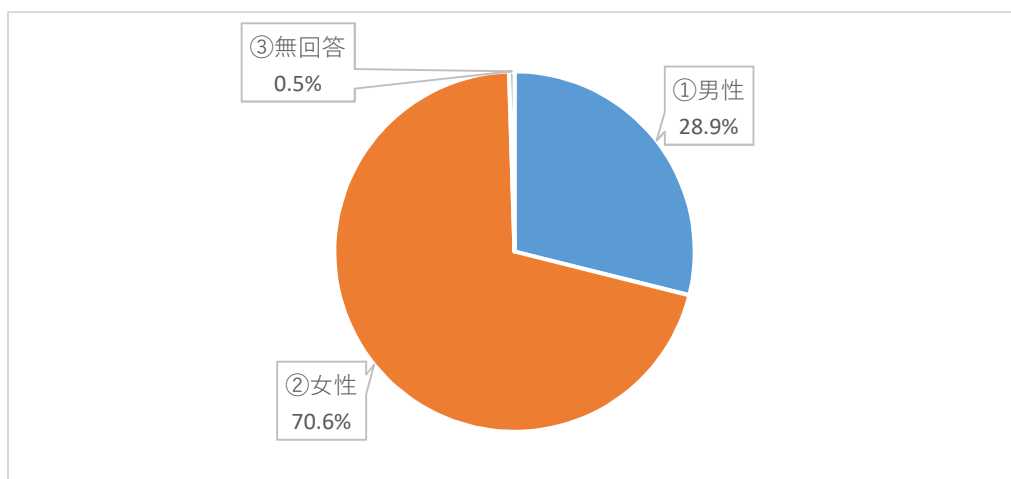
対象者	有効回答数
・東大阪市 LINE 公式アカウントの友だちの内、東大阪市在住で登録されている方	1, 443 人

問 1. 年齢



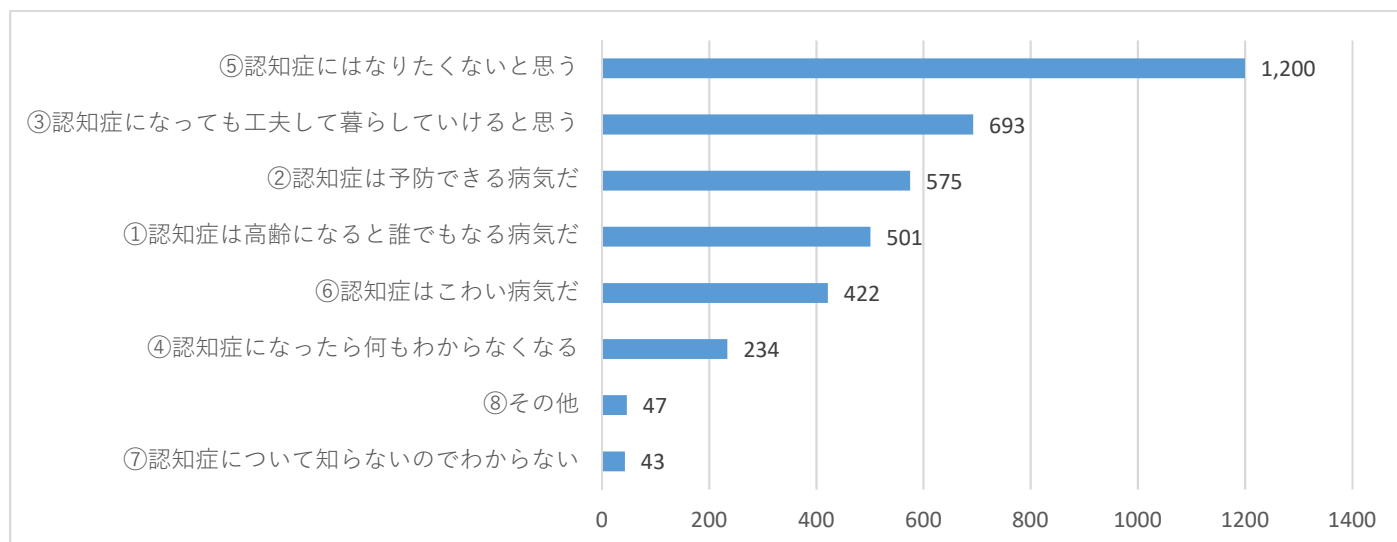
さまざまな年齢の方にお答えいただくことができました。65～74 歳、55～64 歳の方が特に多く、それぞれ約3割でした。

問 2 性別



女性が 7 割を超えていました。

問3 認知症についてどんなイメージがありますか。(複数回答可)

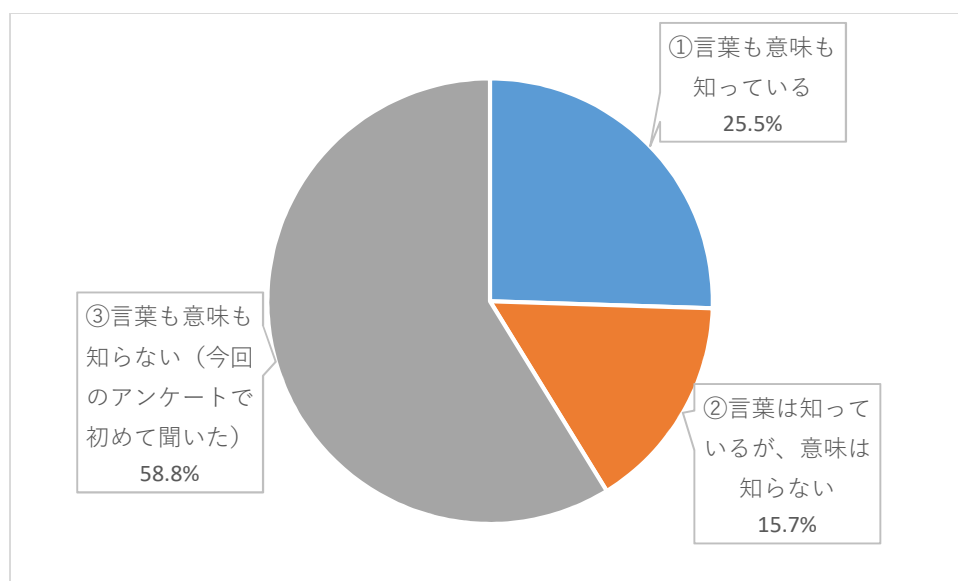


有効回答数 1,443 人に対し 1,200 人の方が「認知症にはなりたくないと思う」と回答されており、多くの方が認知症にはなりたくないと思っていることがわかりました。次いで「認知症になっても工夫して暮らしていけると思う」、「認知症は予防できる病気だ」という回答が多い結果となりました。

問4 「その他」を選択した方に質問です。具体的なイメージをお答えください。

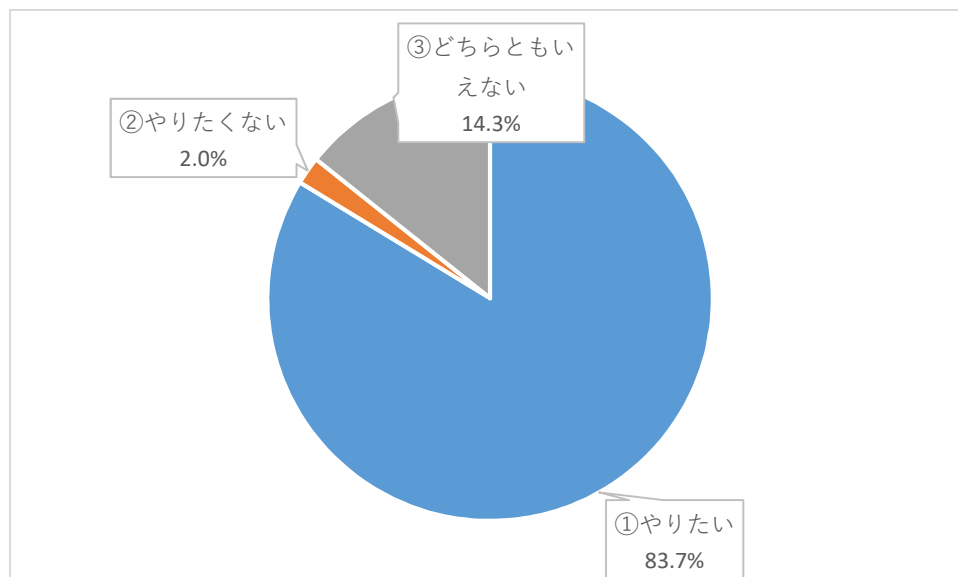
自由記載では「家族や周囲の負担が大きい」や「認知症になったあとの生活が不安」という回答が多くありました。「病気への理解がなく、偏見を持つ人が多い」という意見もありました。

問5 軽度認知障害「MCI」をご存知ですか。



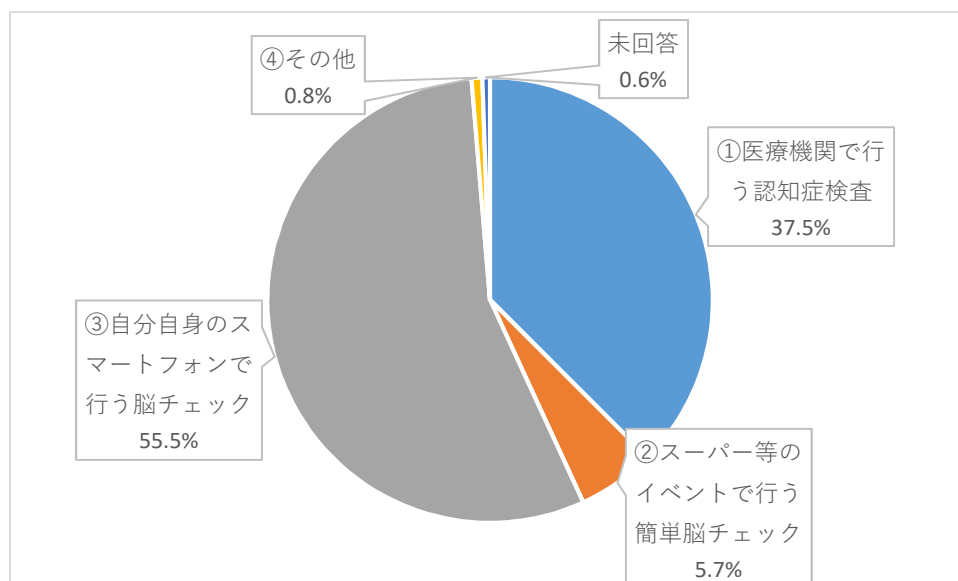
「言葉も意味も知らない」という方が約6割と、MCI の周知・啓発が必要であるということがわかりました。

問 6 脳の健康を気軽にチェックできるとすればやってみたいですか。



約8割の方が脳の健康チェックを「やりたい」と回答されました。

問 7 ①「やりたい」・③「どちらともいえない」を選択した方に質問です。脳の健康チェックをどこでしたいですか。



「自分自身のスマートフォン」という回答が半数を超えており、自宅等で気軽にチェックしたいと考えている人が多いということがわかりました。

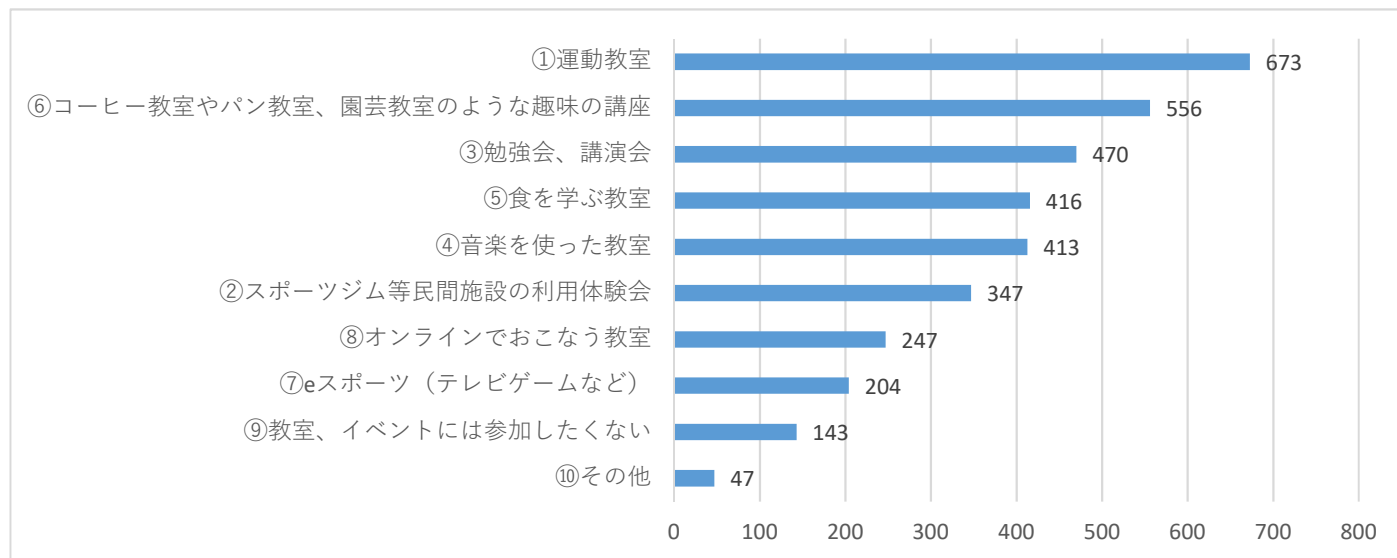
問8 「その他」を選択した方に質問です。具体的にお答えください。

保健センター等の公的機関や運転免許証の更新時という意見がありました。

問9 現在、認知症予防や健康のために取り組んでいることはありますか。

多くの方が運動や脳トレ、バランスの取れた食生活などに取り組んでいるということがわかりました。また、「人と話す」や「ボランティア活動に参加する」など積極的に社会参加をしているという回答も多くありました。一方で、何をすればいいかわからないという回答もありました。

問10 認知症予防の取組として、どのような内容に興味がありますか。(上位3つまで選択してください)

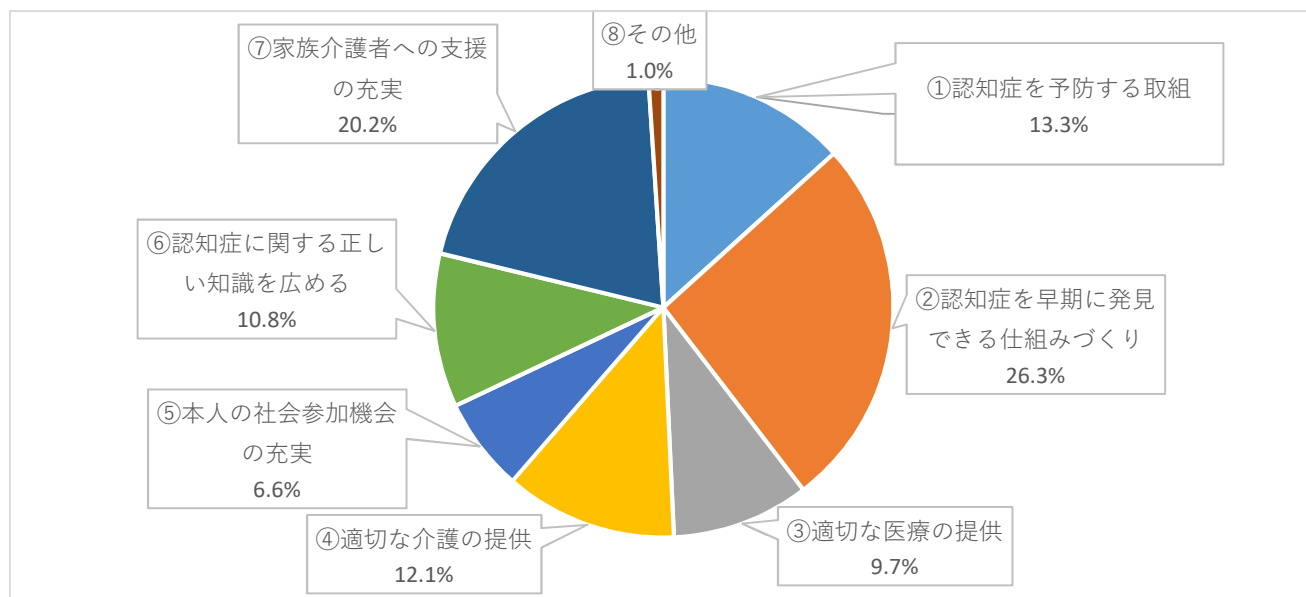


「運動教室」が1番多く673件で、次いで「趣味の講座」556件、「勉強会、講演会」470件という結果でした。

問11 「その他」を選択した方に質問です。具体的にお答えください。

折り紙やボードゲーム、脳トレなど様々な意見がありました。ひとりでできる取組がしたいという意見や時間がなくて参加できないという意見もありました。

問12 認知症に関する取組として、市にどのようなことを期待しますか。

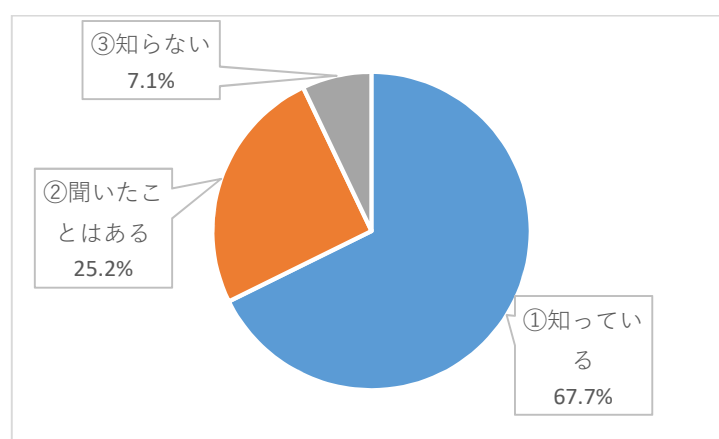


最も多い回答は「認知症を早期に発見できる仕組みづくり」でした。「家族介護者への支援の充実」、「認知症を予防する取組」という回答も多くありました。

問13 「その他」を選択した方に質問です。具体的にお答えください。

問 12 の選択肢すべてに取り組んでほしいという回答が複数ありました。

問 14 65 歳未満で発症する「若年性認知症」を知っていますか。



約 7 割の方が「知っている」と回答されました。「聞いたことはある」を合わせると 9 割を超えました。

※集計結果は、小数第 2 位を四捨五入しており、表記値と計算値との演算誤差が生じることがあるため、回答比率の合計が100%とならないことがあります。

※複数の回答を依頼した質問では、比率の合計が100%を超える場合があります。